

第4グループ

第4グループガバナー補佐 橋本 和行 (岡部RC)

私の受け持つ第4グループは大きく分けて深谷・本庄・秩父という地域になります。それぞれが特徴を持ち、また地域に根差し活動しております。ガバナーも多く輩出され力強い地域と言って良いでしょう。輪番制とは言ってもガバナー補佐を託された以上、地区とクラブの橋渡しを行う職務の重要性を認識し、若輩ではございますが第4グループさらには2570地区のお役に立てるよう尽力していく所存でございます。

2025-26年度からRIのテーマが無くなりましたが、RI会長マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏(ブラジル・サンパウロ)は「UNITE FOR GOOD」[よいことのために手を取りあおう]との会長メッセージを発信されました。これはスリーイヤーズターゲットを実現されるためのヒントです。

それを受けて、第2570地区坂口ガバナーは「ロータリーの主体はRIでも地区でもありません。クラブ強化と活性化のために行動してください!」とメッセージを寄せられました。

これもまた、地区のテーマ廃止による結果ですが、つまりは、すべては各クラブに託されたということなのです。

まさに「クラブ強化と活性化」を目指すならロータリー活動は受け身ではいけません。我々ロータリアンは奉仕の精神を持った個人の集まりなのですから、奉仕の精神を持ち寄り、より大きな力として地域に役立てて行く方法を考えて行きましょう。

私は、ロータリーで一番楽しい、楽しむべき事は例会であると思います。ほぼ毎週のように再会する仲間との再開を心待ちできるような日々を送って、例会日をワクワクする気持ちで迎えたいものです。

【意義ある例会】

1. 自クラブ会員の卓話の機会を作りましょう。皆さんはそれぞれがプロフェッショナルです。その道でリーダーを受け持つ立場です。あなたのポリシーや経験談が皆さんの役に立つことでしょう。
2. 行動計画 目標を設け、実行し、結果を検証しましょう。次につながるプロセスとなります。
3. クラブ内表彰をしましょう。数は決めません。クラブ会長が独断で決めてください。大人になっても褒められることは嬉しいものです。そして励みにもなります。

【出でて学ぶ】

4. ロータリーの活動を広報しましょう。日ごろからロータリーバッジを身に着けて、ロータリアンであることを公表しましょう。意外と出先で声を掛けられますよ。
誇りをもって、仲間を勧誘できます。
5. メークアップに参加しましょう。出席日数に関係なく他クラブを訪問し、知人友人が増えるのは楽しいものです。多くの学びにもなります。

私たちは情報の中で活動をしています。大勢のロータリアンの仲間と生きた情報交換をし、友情を温め、素晴らしい人生を送りましょう。